

平成 29 年 12 月 月 報

1 はじめに

今年もいよいよ1ヶ月を残すのみとなりました。この1年を振り返りますと国内外ともに激動の1年であったような気がします。本会においても今年は、大きな変化がありました。まず1月に名称と信条を変更し、本会の重要施策である家族支援協力を定款に位置づけて本格的に開始し、ロゴマークを初めて制定し、パンフレットも新しく作成し、自衛隊家族会40年史も完成しました。

さて来年は、どんな年になるのでしょうか。激動する国内外の情勢の変化とその対応について注視しつつ、真に隊員と家族を支えることができる家族会に向かって、力強く進んでいこうと考えています。

2 防衛省・自衛隊の行動

(1) 自衛隊音楽まつり



11月16日から18日の3日間にわたり、平成29年度自衛隊音楽まつりが、日本武道館において開催されました。今年の音楽まつりは、「ONE～音が結ぶ、一つの想い～」をテーマとして、陸海空自衛隊の音楽隊、米軍・タイ王国軍のゲストバンドなど総勢約1,000人が参加して素晴らしい演奏・演技を披露し、今年も満員の観客を魅了しました。

(2) 大湊ヘリ事故殉職隊員葬送式



8月26日、護衛艦「せとぎり」搭載の海自大湊航空基地所属の哨戒ヘリコプターが夜間の離発着訓練中、墜落し殉職された隊員3人の葬送式が11月11日、大湊航空基地において、福田防衛大臣政務官をはじめ多くの参列の中、行われました。自衛隊家族会からは、対馬東北地域協議会会長が、伊藤会長の代理として参列しました。心からご冥福をお祈りいたします。

3 自衛隊家族会の活動

(1) 平成29年度第3回理事会（書面決議）

平成29年度第3回理事会（書面決議）の議案を各理事・監事に11月24日付で郵送しました。今回は「平成30年度事業計画（骨子・案）」「自衛隊家族会県会長人事（案）」「自衛隊家族会運営委員人事（案）」の3議案です。特に「平成30年度事業計画（骨子・案）」については、理事会の承認を得て、12月中旬頃、各県に発送し、各県家族会において、平成30年度事業計画を作成して頂くこととなります。

(2) イージス艦乗組員への慰労



弾道ミサイルの対応で海上自衛隊のイージス艦や航空自衛隊のPAC-3部隊は常時監視体制をとり、いざという時に備えています。特に海上自衛隊のイージス艦で勤務する隊員は、常に緊張の中で任務を遂行し本来取れる筈の休暇も返上せざるを得ない状況と聞いています。本会は、このような隊員たちのご苦勞に報いるとともに、少しでも安らぎを感じて頂くた

めに、11月8日心ばかりの慰労品を「きりしま」乗組員の皆様に神奈川県
 慰労する高橋神奈川県会長 県家族会が慰労しました。今後他の3艦の乗組員へも京都府家族会と長崎
 県家族会から慰労品贈呈を計画しています。

4 各県家族会の活動

(1) 東北地域協議会



10月19日、秋田市において東北地域協議会（對馬敦夫会長）が
 開催され、本部から、伊藤会長と渡邊（隆）委員が参加しました。協
 議会では、伊藤会長が「隊員にとって最も身近な存在として今後とも
 家族会の活動の意義は重要である」と述べられるとともに「家族会支
 援協力の本格的施行に伴う今後の対応」及び「自衛隊家族会の活性化
 施策」について活発な意見交換が行われました。

(2) 東海・北陸地域協議会



10月24日、福井市において東海・北陸地域協議会（大野木
 秀一会長）が開催され、本部から、古賀委員が参加しました。
 協議会では、新入会員の勧誘策と課題及び家族支援協力への取
 り組みについてパネルディスカッション形式で有意義な意見交換が
 行われました。その後、斎藤治和前航空幕僚長の防衛講演会が「今
 だから言えること」と題して行われました。

(3) 各種活動スナップ

【防衛講演会】



島根県家族会



神奈川県家族会

【被災地への募金活動】



熊本県家族会

【大久保駐屯地研修】



京都府家族会

【日本原駐屯地研修】



広島県家族会

【娘さんと入隊式で】



愛知県家族会

【親睦・慰労会】



栃木県家族会

【記念行事で女性部活躍】



富山県家族会

【工場見学】



東京都家族会